

2023年度 授業シラバス

科目名	PCスキル基礎	必修 選択	必修	年次	1	学科	アニメ総合テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 実務上、必ずスキルが必要とされるOfficeアプリケーションのWordとExcelについて、実習を通して学習する。 各回、履修した内容についての課題を、当日、もしくは翌週以降におこない、操作を繰り返すことにより、必要なスキルを習得する。							
【到達目標】 実務レベルに対応できるスキルをつけることを目標とする。 ※ 前期:Word、後期:Excel							
【教員の略歴】 1999年より、IT講師として、小・中・高・大学、専門学校までの教育機関、企業・官公庁研修、社会人教育、一般市民講習と言った幅広い年齢層対象の様々な講習を担当。資格保有数は50を超え、IT資格のみならず、キャリアコンサルタント・コーチング・秘書検定などの資格も保持しており、関西では40以上の学校で講義経験を持つ。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	授業ガイダンス・環境確認・データ配布	①	Excel第1章 Excelの基本操作
②	Word第1・2章 Wordの基本操作、文章の編集	②	Excel2章 数式の作成
③	Word第3章 表現力のある文書作成	③	Excel第3章 表の編集
④	Word第4章 図形の応用	④	Excel第4章 グラフの作成
⑤	Word総復習課題①	⑤	Excel第5・6章 印刷・ワークシートの操作
⑥	Word第5章 表の作成	⑥	Excel第7章 いろいろな関数
⑦	Word第6章 Wordの便利な機能	⑦	Excel第8・9章 Excelの便利な機能
⑧	Word第7章 SmartArtグラフィック	⑧	Excel第10章 Excelの活用
⑨	Word第8章 文書をサポートする機能①	⑨	Excel計算問題
⑩	Word第9章 文書をサポートする機能②	⑩	Excel復習課題①
⑪	Word総復習課題②	⑪	後期試験準備のための模擬試験①
⑫	前期試験準備のための模擬試験①	⑫	後期試験準備のための模擬試験②
⑬	前期試験準備のための模擬試験②	⑬	後期試験
⑭	前期試験	⑭	Excel復習課題②
⑮	Word総復習課題③	⑮	Excel復習課題③
準備学習 時間外学習	欠席(公欠を含む)した際には、その内容をしっかりと復習して理解してから、次回出席のこと。	評価方法	授業態度、出席率、課題提出率・完成度、臨時および定期試験の成績を総合的に勘案する。
受講生への メッセージ	社会人として即戦力として活躍するために、この授業で、しっかりとOfficeソフトのスキルを身につけておきましょう。また、毎回の授業は、次回の授業内容と連携しています。苦手な箇所や、欠席(公欠を含む)した際には、その内容をしっかりと復習してから、出席をするようにしましょう。	使用教科書 教材 参考書	滋慶出版Word2019・Excel2019 USBメモリ必携

2023年度 授業シラバス

科目名	コミュニケーションスキル	必修 選択	必修	年次	1	学科	アニメ総合テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

- ・社会人の基本である挨拶をきちんとできるようにする。
- ・社会人として必要なコミュニケーション能力を学び、事務技能や一般マナーを身につける。

【到達目標】

- ・企業が求めている即戦力及び人間力を身に付け、実行できる学生を育成する。
- ・どのような業界においても実力を発揮し企業の将来を担っていく人材を輩出する。

【教員の略歴】

証券会社での役員秘書や信販会社での顧客対応等に10年従事し、サービス業の原点を学んだ。それをもとに秘書検定1級・サービス接客検定1級を取得。その後、大学・専門学校で約15年ビジネスマナーや就職指導の授業を担当している。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	ガイダンス ・ 1章 コミュニケーションとは	①	4章 社会的スキルⅡ 1～4
②	2章 基本的対話スキルⅠ 1～2	②	4章 社会的スキルⅡ 5～7
③	2章 基本的対話スキルⅠ 3～4	③	4章 社会的スキルⅢ 1～2
④	2章 基本的対話スキルⅠ 5～6	④	4章 社会的スキルⅢ 3～5
⑤	2章 基本的対話スキルⅡ	⑤	4章の復習問題
⑥	3章 自己表現スキルⅠ 1～2	⑥	5章 サービスマインドⅠ 1～4
⑦	3章 自己表現スキルⅠ 3～4	⑦	5章 サービスマインドⅡ 1～3
⑧	3章 自己表現スキルⅠ 5～6	⑧	検定試験対策 復習問題
⑨	3章 自己表現スキルⅡ 1～3	⑨	検定直前対策 模擬試験
⑩	3章 自己表現スキルⅡ 4～6	⑩	自己理解① 自己イメージと他者イメージ
⑪	3章 自己表現スキルⅢ 1～2	⑪	自己理解② 美点凝視シート 自己PR
⑫	3章 自己表現スキルⅢ 3～4	⑫	自己理解③ ソーシャルスタイル理論 長所と短所
⑬	1～3章の復習問題	⑬	プレゼンテーション準備
⑭	前期試験	⑭	プレゼンテーション
⑮	4章 社会的スキルⅠ	⑮	コンセンサス実習
準備学習 時間外学習	毎回テキストのポイントを伝えます。さらに、各章ごとに復習プリントを使いながら重要点をまとめることによってしっかり習得できます。	評価方法	傾聴姿勢、提出課題(復習プリント)などの平常点+筆記試験
受講生への メッセージ	授業は聞くだけでなく、できるだけ皆さんに参加してもらいます。知らず知らずのうちにコミュニケーションに自信が持てるようになり、資格の取得もできます。一緒に頑張りましょう。	使用教科書 教材 参考書	コミュニケーションスキルアップ検定

2023年度 授業シラバス

科目名	デザイン基礎	必修 選択	必修	年次	1	学科	アニメ総合テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

デザインで主に活用されるアプリケーション(Photoshop、Illustrator等)の仕組みを原理的、実践的に理解していきます。またそこから得たスキルを活用して、名刺、チラシなどの小型グラフィックを中心にした制作を行います。

【到達目標】

フォトショップやイラストレーターを使用し広告を制作する。ソフトの習得、レイアウトや色を理解する。

【教員の略歴】

映像制作、アパレル、旅行業界などの企画デザインを経て、フリーに。現在はグラフィックデザインを中心に、WEBデザイン、ロゴマーク、パッケージデザイン、テキストスタイルデザイン、カメラマンなど、多方面のデザインや編集に携わる。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	Illustratorの設定と基本操作	①	Photoshopの設定と基本操作
②	基本操作の作図(楕円、矩形、矢印、自由曲線)	②	選択範囲の基本操作
③	シンボルの編集	③	色調補正①
④	塗りの基本・グラデーション	④	色調補正②
⑤	曲線の描画	⑤	画像の修正
⑥	図形の変形	⑥	画像の修正・加工①
⑦	文字の描画と編集	⑦	画像の修正・加工②
⑧	イラストへの各種加工エフェクト	⑧	色の設定とペイントの操作
⑨	線の設定とアピアランス	⑨	レイヤーの操作
⑩	地図の制作①	⑩	文字の基本と加工
⑪	地図の制作②	⑪	illustratorとの連携
⑫	効果メニューによる変形	⑫	フィルタとレイヤースタイル
⑬	グラデーションメッシュ	⑬	チラシ制作①
⑭	Illustratorの復習と応用(名刺制作)①	⑭	チラシ制作②
⑮	Illustratorの復習と応用(名刺制作)②	⑮	合評会
準備学習 時間外学習	宿題は出ませんが、復習とメモを心掛けてください。	評価方法	①授業態度や取り組み姿勢 ②出席率 ③作品のクオリティ ④試験
受講生への メッセージ	パソコンの操作になりますので、一回でも休むと授業についていくのが厳しくなってきますので、休まないように体調管理に心掛けてくださいね。	使用教科書 教材 参考書	特になし

2023年度 授業シラバス

科目名	映像編集	必修 選択	必修	年次	1	学科	アニメ総合テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 映像編集の基本を習得すること 後期は自分で企画した作品を完成させること							
【到達目標】 編集ソフトウェアの基本的な使い方から応用までをマスターし、映像編集技術を理解し習得する							
【教員の略歴】 映像、音楽製作/メディアアーティスト イベント、ファッションショー、音楽ライブなどのVJ, 映像演出、プロジェクションマッピング、近年はV-tuberの技術サポート等							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	編集の基本とコンピュータ		①	タイトル作成2D	
②	カメラサイズ ショットの名前		②	タイトル作成3D	
③	モンタージュ 絵コンテ1		③	SE BGM サウンド MA	
④	モンタージュ 絵コンテ2		④	企画書	
⑤	photoshop 基本 顔の修正		⑤	その他ソフトウェア解説	
⑥	illustrator 基本 パスとブラシテクニック		⑥	企画チェック	
⑦	レイヤーアニメーション(PSD)		⑦	製作1	
⑧	キーフレームアニメーション(AE)		⑧	製作2	
⑨	3Dレイヤー(AE)		⑨	製作3	
⑩	エフェクト		⑩	製作4	
⑪	テスト 静止画 そっくり画像を再現		⑪	作品提出 テスト	
⑫	編集 テロップ 作成		⑫	製作5	
⑬	キー合成 グリーンバック		⑬	製作6	
⑭	連携 AEと他のソフト		⑭	最終チェック	
⑮	レンダリングについて		⑮	創作に必要な道具の話	
準備学習 時間外学習	お気に入りまたは好きな作品の研究をして構造、つくりのわからないところを質問してください		評価方法	テスト(実技)／出席日数	
受講生への メッセージ	積極的に質問してください		使用教科書 教材 参考書	要googleアカウント USBメモリ,HDDまたはSSD等のデータストレージ	

2023年度 授業シラバス

科目名	企画演習	必修 選択	必修	年次	1	学科	アニメ総合テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 キレイな提案書を作るためのデザイン基礎(レイアウト・構成など)を学びながら課題に取り組み、実際にプレゼンテーションをしてもらいます。分かりやすく伝えるために、相手目線に立った配慮をすることを重視した授業を展開します。							
【到達目標】 テーマにそった、調査、問題定義、ターゲット設定、コンセプト抽出、提案書制作、プレゼンまでの行程を体感することで論理的かつ柔軟性に富んだ思考を身につける。 正解のないプレゼンだからこそ、自分らしさを見出し、読むのではなく自分の言葉で語られるようになることを目標としています。							
【教員の略歴】 マルチクリエイター(グラフィックデザイナー・Webデザイナー・ブランディング・ディレクション)							

前期		後期		
授業計画・内容		授業計画・内容		
①	情報整理・ストーリー構成(推しの情報を精査し、エピソードトークを考えた上で、構成を練る。)	①	【あったらいいな、こんなもの！を見える化(図解化)しよう】②具体的イメージ展開	
②	プレゼン資料作成(テンプレートを基に作成)	②	【あったらいいな、こんなもの！を見える化(図解化)しよう】③ラフイメージ案抽出(アイデアを図のみで表現)	
③	プレゼン&ディスカッション	③	【あったらいいな、こんなもの！を見える化(図解化)しよう】④前週で出したラフイメージ案をプレゼン用に修正、完成度を高める	
④	【脱出ゲームを企画しよう】①調査・問題抽出(チーム制:KJ法によるキーワード方向アイデア出し)	④	【あったらいいな、こんなもの！を見える化(図解化)しよう】⑤プレゼン&ディスカッション	
⑤	【脱出ゲームを企画しよう】②コンセプトメイキング(ペルソナターゲット設定、コンセプトタイトル抽出、6WIHIによる具体案まとめ)	⑤	【あったらいいな、こんなもの！を見える化(図解化)しよう】⑥プレゼン&ディスカッション	
⑥	【脱出ゲームを企画しよう】③具体的イメージ展開	⑥	グループワーク【バーチャル大阪を盛り上げよう!】①調査・問題抽出～コンセプトメイキング	
⑦	【脱出ゲームを企画しよう】④ミニプレゼン(意見のフィードバック、内容の再検討)	⑦	グループワーク【バーチャル大阪を盛り上げよう!】②具体的イメージ展開(メディアイメージ、空間イメージ、プロモーション方法など)、役割分担決め	
⑧	【脱出ゲームを企画しよう】⑤ストーリー構成・ラフイメージ案抽出(これまでの情報を整理し、提案書の構成を練る)	⑧	グループワーク【バーチャル大阪を盛り上げよう!】③	
⑨	【脱出ゲームを企画しよう】⑥	⑨	グループワーク【バーチャル大阪を盛り上げよう!】④	
⑩	【脱出ゲームを企画しよう】⑦提案書づくり開始(前週までに出したラフイメージ案を提案書に落とし込む)	⑩	グループワーク【バーチャル大阪を盛り上げよう!】⑤提案書・プレゼン資料づくりも開始	
⑪	【脱出ゲームを企画しよう】⑧	⑪	グループワーク【バーチャル大阪を盛り上げよう!】⑥	
⑫	【脱出ゲームを企画しよう】⑨	⑫	グループワーク【バーチャル大阪を盛り上げよう!】⑦	
⑬	【脱出ゲームを企画しよう】⑩プレゼン&ディスカッション	⑬	グループワーク【バーチャル大阪を盛り上げよう!】⑧プレゼン&ディスカッション	後期試験
⑭	【脱出ゲームを企画しよう】⑪プレゼン&ディスカッション	前期試験	⑭	みんなのプレゼンを見よう① ※他コースのアイデアや提案書を紹介
⑮	【あったらいいな、こんなもの！を見える化(図解化)しよう】①調査・問題抽出～コンセプトメイキング	⑮	⑮	みんなのプレゼンを見よう② ※他コースのアイデアや提案書を紹介
準備学習 時間外学習	時間内で完成しない場合、授業外で作成してもらうことになります。	評価方法	出席率、授業態度、課題作品の割合で評価します。 以下の場合は及第点は出せないのので気をつけてください。 ・提案書を出さない ・プレゼンテーションしない(第13回、第14回、第28回)	
受講生への メッセージ	1回完結ではなく連続授業です。欠席しないのがベストですが、もし欠席しても、残りを投げずに出てきて最後まで制作してください。可能な限りフォローします。	使用教科書 教材 参考書	PowerPoint 模造紙 ポストイット マスキングテープ	

2023年度 授業シラバス

科目名	声優演習	必修 選択	必修	年次	1	学科	アニメ総合テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

- ・徹底した基礎トレーニング ・声の基礎となる基本の発声をしっかり身につける
- ・基礎ボイストレーニング、ボイスコントロール、プレトレーニング ・声域、音域を広げる
- ・声域を広げていくために「合唱」を用いてトレーニングする

【到達目標】

- ・全身を使い、パワフルなスケール感のある声を出せるようになる。
- ・恥ずかしがらず、しっかりと大きな声で歌えるようになる。
- ・1年間の成果として正しい音程を取ることができるようになる。

【教員の略歴】

ピアノ・音楽・音楽理論を学び、ボイストレーナーとして芸能事務所、放送局、企業でヴォイストレーニングを指導。専門は「音楽」ということで、ピアノを用いて基礎発声を指導。現役アナウンサー、役者、歌手、DJ等々のボイストレーナーとしても活動。自社にて卒業生多数在籍しています。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	今後1年間の授業説明、自己紹介	①	基礎発声、ソルフェージュの説明
②	発声のメカニズム、「食育」について	②	音階と音程の説明
③	プレトレーニング ボイストレーニング・ボイスコントロールの説明	③	基本となる調のACEの音階トレーニング
④	プレトレーニング、基礎発声練習 ①	④	基本となる調のACEの音階トレーニング、 課題曲Ⅰ・Ⅱ
⑤	プレトレーニング、基礎発声練習 ②	⑤	基本となる調のACEの音階トレーニング、 課題曲Ⅰ・Ⅱパート別①
⑥	プレトレーニング、基礎発声練習 ③	⑥	基本となる調のACEの音階トレーニング、 課題曲Ⅰ・Ⅱパート別②
⑦	ボイスコントロール、身体の使い方	⑦	基本となる調のACEの音階トレーニング、 課題曲Ⅰ・Ⅱパート別③
⑧	あいうえお唱法、ABC's song①	⑧	基礎発声、音階 3パート合わせて ①
⑨	あいうえお唱法、ABC's song②	⑨	基礎発声、音階 3パート合わせて ②
⑩	課題曲Ⅰ「心の旋律」、Ⅱ「道」	⑩	基礎発声、音階 3パート合わせて ③
⑪	課題曲混成三部合唱の説明	⑪	基礎発声、音階 3パート合わせて ④
⑫	課題曲混成三部合唱の説明 パート別①	⑫	基礎発声、音階 3パート合わせて ⑤
⑬	課題曲混成三部合唱の説明 パート別②	⑬	ソルフェージュ、音階のテスト
⑭	あいうえお唱法、ABC's song	⑭	3パートで混成合唱 3人でテスト
⑮	前期の総復習	⑮	お別れ歌パーティー(カラオケ)
準備学習 時間外学習	自主トレーニング(基礎発声) 50音あいうえお、アルファベットABC	評価方法	①出席率 ②授業内の態度 ③実技テスト ④食育レポート
受講生への メッセージ	歌の上手・下手を競う授業ではありません 声のコントロールの上達の為に「合唱」を用います	使用教科書 教材 参考書	「心の旋律」の譜面

2023年度 授業シラバス

科目名	滑舌アクセント	必修 選択	必修	年次	1	学科	アニメ総合テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 表現者の基本である、腹式発声・標準語アクセント・鼻濁音・母音の無声化について解説と習得のための練習方法を説明し、実際にやってみます。ひとりひとりの読みのチェックをすべてで行いたいのですが、限られた時間で行うため、グループや全体で声を合わせて読むことも行います。							
【到達目標】 標準語アクセント・鼻濁音・母音の無声化など表現者として習得しておきたい基本的なことを習得する。プロとしての「声」作り。聞き分ける「耳」を鍛える。表現すること、伝えるという事の本質を理解する。なぜその表現になるのかを考え、導き出せる力をつける。							
【教員の略歴】 ナレーター MC スポーツ実況 テレビ・ラジオの番組キャスター リポーターを経験。 神姫バスや和歌山バス、南海りんかんバスなどの車内アナウンスの声も担当している。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	オリエンテーション(なぜ学ぶのかを解説など)	①	さ・しゃ行の滑舌練習と解説
②	北原白秋「五十音の詩」を使って腹式呼吸・複式発声の練習	②	ざ・じゃ行の滑舌練習と解説
③	北原白秋「五十音の詩」を使ってアクセント辞典の使い方など解説	③	た・だ・ちゃ・つあ行の滑舌練習と解説
④	北原白秋「五十音の詩」を使って標準語アクセントについて解説①	④	な・にや行の滑舌練習と解説
⑤	北原白秋「五十音の詩」を使って標準語アクセントについて解説①	⑤	は・ひゃ行の滑舌練習と解説 母音の無声化の復習
⑥	北原白秋「五十音の詩」を使って標準語アクセントについて解説①	⑥	ば・ぱ・びゃ・ぴゃ行の滑舌練習と解説
⑦	北原白秋「五十音の詩」を使って鼻濁音について解説と演習	⑦	ま・みゃ行の滑舌練習と解説
⑧	北原白秋「五十音の詩」を使って母音の無声化について解説と演習	⑧	や・ら・りゃ行の滑舌練習と解説
⑨	北原白秋「五十音の詩」総復習	⑨	わ行・外来語の滑舌練習と解説
⑩	滑舌練習	⑩	外郎売の解説と読み下し①
⑪	母音の滑舌練習と解説	⑪	外郎売の解説と読み下し②
⑫	か・きゃ行の滑舌練習と解説	⑫	詩の朗読①
⑬	か°きゃ°行の滑舌練習と解説 鼻濁音復習	⑬	後期試験
⑭	前期試験	⑭	後期試験の振り返り・復習
⑮	前期試験振り返り・復習	⑮	詩の朗読②
準備学習 時間外学習	・教科書及び配布するプリントの練習文を声に出して読んでくる ・わからない言葉は意味を調べ理解してくる	評価方法	前期・後期其々2/3以上の出席をもって評価の対象とします。 成績は、授業態度(受講態度・取組姿勢) テストで評価します。
受講生への メッセージ	表現者となる人が必ず習得しなければならない基本を徹底的に繰り返す授業ですが、楽しく進めていきます。頑張って声と耳を鍛えてください。	使用教科書 教材 参考書	・発声・滑舌・アクセントトレーニング教本(滋慶出版発行) ・授業時に配布するプリント

2023年度 授業シラバス

科目名	アニメ映像研究	必修 選択	必修	年次	1	学科	アニメ総合テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

アニメファンの視点ではなく、アニメを制作する側の視点で作品の研究&分析(演出、効果、音響、CG、作画、背景美術、シリーズ構成などを深掘り)をしていきます。制作会社や監督にフォーカスして論じることも多いです。その他、業界用語解説、アニソン研究、アニメを使ったwebCMなどもとりあげます。基本この計画書で進めますが、順番・内容の変更や、別内容を入れることもあります。

【到達目標】

映像が持つ影響力・存在感・インパクトは、あらゆるエンタメにとって超重要な要素です。映像への造詣が深いと、各専攻分野で大きな武器になります。考え方の幅が広がり、感性も豊かになります。そういった個々の思考・考察力向上につなげます(=どんなエンタメ分野でも活躍できるようになります)。

【教員の略歴】

1990年からフリーランスのクリエイターとして活動。
アニメ・声優の評論、音楽評論、グラフィックデザイン制作、webデザイン制作、ブランディングなど。

前期		後期		
授業計画・内容		授業計画・内容		
①	いづつかあつこ監督の制作秘話	①	アニソンの歴史を変えたfripSide特集	
②	アニメ作品のテーマを深掘り	②	アニメ演出の研究、angela 特集	
③	精密な時代考証、物語るものを考える	③	本能を問う硬派アニメを考察	
④	人気シリーズにした監督の熱意を考察する	④	アニメ映像の背景美術を研究、Thunderbolt Fantasy	
⑤	岡田麿里(脚本・監督)の研究	⑤	音響監督とアニメ作品映像	
⑥	アニメ作品の感動を作品を通して分析	⑥	アニメ映像の号泣のポイントを分析、Loundraw(キャラ原案)研究	
⑦	京アニの歴史研究、Animelo Summer Live	⑦	細田守監督の作品研究	
⑧	アニメ作品のストーリー研究	⑧	アニメ音響研究	
⑨	実話をもとにしたアニメ作品を研究	⑨	幾原邦彦監督の作品研究	
⑩	アニメ作品の最終話の演出を考察	⑩	アニソン業界の今・上松範康	
⑪	岡田麿里(脚本・監督)研究②	⑪	アニメ映像とアニソン業界の分析	
⑫	絶対泣けるアニメが超神作な理由《前編》	⑫	作画監督井上俊之のテクニックを解析	
⑬	絶対泣けるアニメが超神作な理由《後編》	⑬	後期試験	後期試験
⑭	前期試験	前期試験	⑭	劇場版のアニメ作品を大研究(本編)
⑮	制作会社TRIGGERを徹底分析(制作現場)	⑮	⑮	まとめ・総評
準備学習 時間外学習	特になし	評価方法	記述式の試験を実施。そこから出席率・授業態度を減点法で計算	
受講生への メッセージ	業界内評価の高い作品や重要アニメーターをとりあげます。好きか嫌いかの主観で判断しないで、アニメを作ったすべての人たちに対して、リスペクトする気持ちと愛を忘れずに受講して下さい。	使用教科書 教材 参考書	すべて講師が用意します。 使用する映像や画像、音声は、著作権法第35条・38条に拠る範囲内。※受講者が授業内容を録画するのは禁止です。	

2023年度 授業シラバス

科目名	アニメ映像研究	必修 選択	必修	年次	1	学科	アニメ総合テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 Pro-Toolsでの録音、編集の基礎を学ぶ							
【到達目標】 Pro-Toolsを使って作品の音響を仕上げる							
【教員の略歴】 TVの音効として業界の仕事をする、その後、FM802のマスター・ミキサー、TV音声、95年からは主にMAスタジオのミキサー、その他、K-1や企業イベントなどの音効を手掛ける							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	MAについて	①	演習 声の編集①
②	スタジオのシステムについて	②	演習 声の編集②
③	ProTools基礎 素材の取り込みと編集①	③	効果音について
④	ProTools基礎 素材の取り込みと編集②	④	ドラマの音楽について
⑤	ProTools基礎 素材の取り込みと編集③	⑤	演習 課題制作
⑥	ProTools基礎 ミキシング①	⑥	演習 課題制作
⑦	ProTools基礎 ミキシング②	⑦	演習 (セリフ編集)①
⑧	演習 音楽の編集①	⑧	演習 (セリフ編集)②
⑨	演習 音楽の編集②	⑨	演習 (セリフ編集)③
⑩	演習 音楽の編集③	⑩	演習 (MIX)①
⑪	ノイズリダクションについて	⑪	演習 (MIX)②
⑫	演習 課題制作①	⑫	試写
⑬	演習 課題制作②	⑬	実技試験
⑭	実技試験	⑭	演習 (作品の修正)/試験評価
⑮	試験評価	⑮	演習 (最終試写)
準備学習 時間外学習	普段、自分の周りでどんな音が鳴っているのか！？注意して聴いてみてください。これから作っていく作品で使う音のヒントがあります	評価方法	編集の実技試験、出席、受講姿勢等の総合評価
受講生への メッセージ	これから2年間、音楽の編集や効果音の作成をしていきますが、自分の中の常識に囚われずにチャレンジしてください。日頃から高音質のものを聴く習慣を身に付けてください	使用教科書 教材 参考書	必要な資料につきましては講師が準備します

2023年度 授業シラバス

科目名	ラジオドラマ編集	必修 選択	必修	年次	1	学科	アニメ総合テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】
サウンドドラマで使用する効果音の収録、制作、編集方法を学ぶ

【到達目標】
サウンドドラマの収録・編集の知識及びオンエアされるまでのプロセスを身につける。

【教員の略歴】
ラジオ番組ミキサー、公営競技のTV番組(CS)音声、制作、スイッチャー業務を経て、現在は主にラジオ放送局の制作・編集。単発イベント企画・制作などを担当。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	収録用機材のセッティング マイク、カフBOXの設置について	①	サウンドドラマ編集 ボイスパケ①・②話、使用音源準備(効果音収録、BGM選定)
②	効果音収録 実際に効果音を収録して、マイキングやEQなどのセッティングを学習します	②	サウンドドラマ制作 ボイスパケ③・④話、使用音源準備(効果音収録、BGM選定)
③	著作権について 放送で使用する楽曲の使用に際してのルールについて講義します	③	サウンドドラマ制作 ボイスパケ⑤・⑥話、使用音源準備(効果音収録、BGM選定)
④	放送局(TV、ラジオ局)について 放送局の役割、資格などについて	④	サウンドドラマ制作 ボイスパケ⑦・⑧話、使用音源準備(効果音収録、BGM選定)
⑤	制作プロダクションについて 放送局と制作プロダクションの関係性について	⑤	サウンドドラマ制作 ボイスパケ⑨・⑩話、使用音源準備(効果音収録、BGM選定)
⑥	スポンサーについて 番組制作するにあたっての制作費がどのように	⑥	サウンドドラマ制作 ボイスパケ⑪・⑫話、使用音源準備(効果音収録、BGM選定)
⑦	音声の数値化 音声レベルを数値化したものは数多くあり、主流なものについて講義します	⑦	サウンドドラマ制作 ボイスパケ⑬話、使用音源準備(効果音収録、BGM選定)
⑧	ラウドネスについて 音声レベルを数値化したラウドネスについて掘り下げます	⑧	サウンドドラマ制作 ①話、②話完パケ Qシート作成、納品
⑨	アナログ、デジタル アナログ、デジタルについて双方のメリット・デメリットを解説します	⑨	サウンドドラマ制作 ③話、④話完パケ Qシート作成、納品
⑩	メディアの役割について エンターテインメントがクローズアップされがちですが、本来のメディアの役割について	⑩	サウンドドラマ制作 ⑤話、⑥話完パケ Qシート作成、納品
⑪	インターネット配信 TV、ラジオに代わるメディアとしてのインターネット放送について	⑪	サウンドドラマ制作 ⑦話、⑧話完パケ Qシート作成、納品
⑫	今後の放送業界について 時代によって業界は移り行くものです。今後の放送業界はどうなっていくかについて	⑫	サウンドドラマ制作 ⑨話、⑩話完パケ Qシート作成、納品
⑬	サウンドドラマ準備 脚本を読んで必要な音源(効果音、BGM)をピックアップします	⑬	課題提出 内容は授業内で発表
⑭	前期授業内容のペーパーテスト	⑭	サウンドドラマ制作 ⑪話、⑫話完パケ Qシート作成、納品
⑮	テスト返却 後期のサウンドドラマ編集に向けて	⑮	サウンドドラマ制作 ⑬話完パケ Qシート作成、納品
準備学習 時間外学習	前期は講義が中心となりますので、理解を深めるために授業後の復習をしっかりとるようにしてください。後期は編集作業が中心となります。納期がある作業がありますので、効率よく作業を進められるようにしてください。	評価方法	前期:ペーパーテスト、出席率、授業態度 後期:課題提出、出席率、授業態度
受講生への メッセージ	持っている技術をしっかりと理解し、さらに発展させていけるようにがんばってください。	使用教科書 教材 参考書	筆記用具、USBメモリ、HDD(SSD)

2023年度 授業シラバス

科目名	サウンド制作	必修 選択	必修	年次	1	学科	アニメ総合テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】
サウンドドラマで使用する効果音の収録、制作、編集方法を学ぶ

【到達目標】
ストーリーや場面にあった効果音を作成し、擬似音も含め収録・編集・加工できるようになる。

【教員の略歴】
ラジオ番組ミキサー、公営競技のTV番組(CS)音声、制作、スイッチャー業務を経て、現在は主にラジオ放送局の制作・編集。単発イベント企画・制作などを担当。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	顔合わせ、自己紹介	①	サウンドドラマ編集 ボイスパケ①・②話、使用音源準備(効果音収録、BGM選定)
②	マイクロフォンについて マイクの種類、指向性、特性について	②	サウンドドラマ制作 ボイスパケ③・④話、使用音源準備(効果音収録、BGM選定)
③	スタジオ機器について① デジタルミキサーの使用について、アナログミキサーとの違い	③	サウンドドラマ制作 ボイスパケ⑤・⑥話、使用音源準備(効果音収録、BGM選定)
④	スタジオ機器について② パッチベイ仕様について	④	サウンドドラマ制作 ボイスパケ⑦・⑧話、使用音源準備(効果音収録、BGM選定)
⑤	音響効果について① 主にPA音響での効果ですが、スタジオ制作でも役立てられる効果について	⑤	サウンドドラマ制作 ボイスパケ⑨・⑩話、使用音源準備(効果音収録、BGM選定)
⑥	音響効果について② あまり馴染みがないかもしれませんが、音声における位相についての講義を行います	⑥	サウンドドラマ制作 ボイスパケ⑪・⑫話、使用音源準備(効果音収録、BGM選定)
⑦	模擬ドラマ制作①(原稿案作成) 5分ほどのドラマのための草案を作る	⑦	サウンドドラマ制作 ボイスパケ⑬話、使用音源準備(効果音収録、BGM選定)
⑧	模擬ラジオドラマ制作①(台本作成) 5分ドラマのための台本を作る	⑧	サウンドドラマ制作 ①話、②話完パケ Qシート作成、納品
⑨	模擬ラジオドラマ制作②(音素材収集)情景がわかるBGMや効果音を考えて効果的に演出する準備	⑨	サウンドドラマ制作 ③話、④話完パケ Qシート作成、納品
⑩	模擬ラジオドラマ制作③(音声収録)録音の基礎を学びます。	⑩	サウンドドラマ制作 ⑤話、⑥話完パケ Qシート作成、納品
⑪	模擬ラジオドラマ制作④(音声収録)録音の基礎を学びます。	⑪	サウンドドラマ制作 ⑦話、⑧話完パケ Qシート作成、納品
⑫	模擬ドラマ制作⑤(編集)編集の基礎。	⑫	サウンドドラマ制作 ⑨話、⑩話完パケ Qシート作成、納品
⑬	模擬CM制作⑥(編集)編集の基礎。	⑬	課題提出 内容は授業内で発表
⑭	前期授業内容のペーパーテスト	⑭	サウンドドラマ制作 ⑪話、⑫話完パケ Qシート作成、納品
⑮	前期授業の復習 完成した模擬ラジオドラマの検聴・感想会	⑮	サウンドドラマ制作 ⑬話完パケ Qシート作成、納品
準備学習 時間外学習	前期は簡単な録音に実際に行き、よりクオリティを高めるための講義を行っていきます。 後期は編集作業が中心となります。納期がある作業がありますので、効率よく作業を進められるようにしてください。	評価方法	前期:ペーパーテスト、出席率、授業態度 後期:課題提出、出席率、授業態度
受講生への メッセージ	2年後の自分自身でどうなりたいかをイメージして目標に向かって取り組んでください。	使用教科書 教材 参考書	筆記用具、USBメモリ、HDD(SSD)

2023年度 授業シラバス

科目名	デッサン	必修 選択	必修	年次	1	学科	アニメ総合テクノロジー科 屋間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 基本的な美術解剖学への知識を知って、人間の正確な形を描きリアリティを感じさせる人体を描く。また2次元平面から3D・三次元立体表現性を高める。ただし進行状況やその他の事情や条件に寄っては講義実習内容を変更する事がある。人体のフォルムと動きを素早く表現する技術を養い、会得することにより現場即戦力となる。人体の構造・描き方を理解し、表現にいかせるようになる。アニメ、漫画、イラスト、ゲーム等々の専門分野に限らず、アーティストとしての基礎として指導する。							
【到達目標】 人体デッサンの(初級)基礎実習を通して各人各様の個性や独自性、独創性のある表現を拓かせることを目的とし、二次元的思考だけでは得にくい、三次元的物体と空間との関係に、意識の広がりを持たせる。幅広い創作思考で、各人の理想とする表現を模索する力を付ける。							
【教員の略歴】 20年以上に亘って基礎デッサン・人体デッサンを指導しつつ、東京・大阪・名古屋・九州等の各地で、人体デッサンセミナーを行っている。又、過去には専門学校、美術大学で講師を勤める。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	基礎デッサン(座学)概論・画材と演習	①	1・基礎デッサン プロジェクター動画による遠近法(透視図法)
②	1・デッサン基礎・幾何形体を理解する(遠近法・陰影法)	②	2・基礎デッサン プロジェクター動画による遠近法(透視図法)
③	2・デッサン基礎・幾何形体を理解する、陰影と立体の関係	③	屋外写生実習 屋外で風景をスケッチする。(快晴日のみ) (雨天・曇天)の場合は教室でクラスメートをデッサン
④	3・デッサン基礎・幾何形体を理解する、静物デッサン	④	屋外写生実習 屋外で風景をスケッチする。(快晴日のみ) (雨天・曇天)の場合は教室でクラスメートをデッサン
⑤	4・デッサン基礎・幾何形体を理解する、静物デッサン	⑤	5・基礎デッサン プロジェクター動画による(モデルデッサン)
⑥	1・平面から立体へ、ペーパークラフトによる コンストラクション	⑥	6・基礎デッサン プロジェクター動画による (モデルデッサン)
⑦	2・平面から立体へ、ペーパークラフトによる コンストラクション	⑦	1・写真からグリッドで描き起こし
⑧	3・平面から立体へ、ペーパークラフトによる コンストラクション	⑧	2・写真からグリッドで描き起こし
⑨	人体クロッキー・人体デッサン ポーズ概論 クラスメートをクロッキー	⑨	3・写真からグリッドで描き起こし
⑩	人体クロッキー・ポーズ概論 プロジェクター動画による 解説と 人体デッサン	⑩	クラスメートを色々な角度方向からクロッキー
⑪	1・人体クロッキー・人体デッサンポーズと骨格比率	⑪	1・人体デッサン 写実力を高める質感表現
⑫	2・人体クロッキー・人体デッサンポーズと骨格比率	⑫	2・人体デッサン 写実力を高める質感表現2
⑬	人体クロッキー・人体デッサン プレ試験1回目	⑬	人体クロッキー・人体デッサン プレ試験1回目
⑭	人体クロッキー・人体デッサン 試験2回目	⑭	人体クロッキー・人体デッサン 試験2回目
⑮	人体クロッキー・人体デッサン 試験3回目	⑮	人体クロッキー・人体デッサン 試験3回目
準備学習 時間外学習	平素から人体表現に対する向上意識をしっかりと保ち、与えられた教科書となる(そこが知りたい人体デッサン・と、ヌードクロッキー技法書電子書籍・渡邊一雅著)をしっかりと予習、復習を重ねて良く理解しておくこと。	評価方法	真摯な且つ集中力を絶やさず熱心に取り組んでいるか、忘れ物、遅刻、休み日数等、授業・技術的向上・試験
受講生への メッセージ	全ての講義演習に真摯に取り組み、自己ベストを尽くすこと。マナーに徹底して気を配ること。実際のモデルを教材とする関係上、学校の休憩時間や、終了時に必ずしも合わないこともある。講義実習態度が総合成績に多いに影響がある又、5日以上休むと成績は出さない。遅刻は教室に入れない。	使用教科書 教材 参考書	(画材)鉛筆・練り消しゴム・消しゴム・四つ切画用紙・B4コピー用紙・目玉クリップ数個。(そこが知りたい人体デッサン)学芸出版社と、電子書籍(ヌードクロッキー技法書ROJUE出版)渡邊一雅著を教科書とする。実習の進行状況によって画材を指示する。

2023年度 授業シラバス

科目名	デザイン演習	必修 選択	必修	年次	1	学科	アニメ総合テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 アニメーションの歴史、仕事内容を順に学びアニメーション制作の基礎基本を理解する。							
【到達目標】 アニメーション制作の分業を理解。それぞれの仕事を学び自分の進路の業種を深く考えてもらう。習得 アニメーション制作における技術全般。							
【教員の略歴】 フリーアニメーター							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	授業内容説明と各々の自己紹介・アニメーションの歴史と日本と外国の違いなど	①	原画から動画
②	アニメが出来るまでの流れや分業の説明(余裕があればキャラ表をトレース)・作品の絵コンテ①初級バスタップ編	②	動画を仕上げる工程を学ぶ(スキャンからPS→トレースマンへ)
③	作品の絵コンテ②中級日常動作編	③	動画を仕上げる工程を学ぶ(キャラ表を基に色塗り) ☆作画素材完成☆
④	作品の絵コンテ③上級アクション編	④	アニメ背景を描写.写真加工して二次元化
⑤	絵コンテからレイアウト①初級バスタップ編	⑤	音響・収録について学ぶ・効果音・BGMなどの採取・AE編集
⑥	絵コンテからレイアウト②中級日常動作編	⑥	アフターエフェクト(AE)での動画編集①作画データ編
⑦	絵コンテからレイアウト③上級アクション編	⑦	アフターエフェクト(AE)での動画編集②作画データ編
⑧	レイアウトから原画①初級バスタップ編タイムシートも	⑧	アフターエフェクト(AE)での動画編集①他素材編
⑨	レイアウトから原画②中級日常動作編	⑨	アフターエフェクト(AE)での動画編集②他素材編
⑩	レイアウトから原画③上級アクション編	⑩	アフターエフェクト(AE)での動画編集①画面効果編
⑪	3つの課題から1つを選び、コンテ→レイアウト→原画①	⑪	アフターエフェクト(AE)での動画編集②画面効果編
⑫	3つの課題から1つを選び、コンテ→レイアウト→原画②	⑫	アニメ会社を調べ、纏める【元請・グロス・下請/会社形態・就職・給与・福利厚生・個性・立地など】
⑬	3つの課題から1つを選び、コンテ→レイアウト→原画③	⑬	ポートフォリオについて学ぶ【内容の精査・実践】①
⑭	3つの課題から1つを選び、コンテ→レイアウト→原画④	⑭	ポートフォリオについて学ぶ【内容の精査・実践】②
⑮	前回の続きと前期の総評など	⑮	次年度における勉強プラン考察・最終総評
準備学習 時間外学習	パート毎に宿題有り(反復学習も兼ねる)	評価方法	出席率・授業態度・技術成長度・クオリティ
受講生への メッセージ	この授業ではアニメーション制作の全般を理解し、自分の進路の職種を深く考えてみてください。反復学習も兼ねてほぼ毎度宿題も設けますが頑張ってくださいね！今年も宜しくお願い致します！	使用教科書 教材 参考書	あれば便利なもの ポーズ人形 お勧め参考書はその都度紹介致します

2023年度 授業シラバス

科目名	作品制作	必修 選択	必修	年次	1	学科	アニメ総合テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 CLIPSTUDIOというPCソフトを用いてデジタル動画を学んでいただきます。							
【到達目標】 アニメーションの基本的な動きを実際に描いてもらいます。物や人の動き方や動かし方を理解し習得していただきます。							
【教員の略歴】 フリーランスのアニメーターです。現在は主に第2原画の仕事を担当							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	CLIPSTUDIOの基本的な使い方や授業について クリーンアップ課題①	①	横から見た走り
②	クリーンアップ課題②	②	振り向き①
③	振り子・ボールの弾み	③	振り向き②
④	簡単な中割り・線割り タップ割りの練習(均等割り)①	④	腕を上げる①
⑤	タップ割りの練習(均等割り)②	⑤	腕を上げる② 煙の送り①
⑥	タップ割りの練習(均等割り)③	⑥	煙の送り② 燃えさかる炎①
⑦	タップ割りの練習(詰める割り)①	⑦	燃えさかる炎②
⑧	タップ割りの練習(詰める割り)②	⑧	走る車①
⑨	線合成 ロパク目パチ	⑨	走る車② BG動画
⑩	イスから立ち上がる①	⑩	鳥の羽ばたき①
⑪	イスから立ち上がる②	⑪	鳥の羽ばたき②
⑫	横から見た歩き ①	⑫	動物の歩き①
⑬	横から見た歩きの続き ②	⑬	動物の歩き②
⑭	横から見た歩きの続き ③	⑭	動物の走り①
⑮	横から見た走り	⑮	動物の走り②
準備学習 時間外学習	普段からタブレットを使って絵を描いたり練習して慣れておいていただきたいです。	評価方法	試験・出席・態度・課題評価から100点満点で採点します。
受講生への メッセージ	集中力が必要になりますので食事睡眠休憩はしっかりとって授業に臨んでほしいです。	使用教科書 教材 参考書	アニメ基礎講座教本

2023年度 授業シラバス

科目名	キャリア教育	必修 選択	必修	年次	1	学科	アニメ総合テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 クラス仲間とコミュニケーションをとりながら、自己分析に始まり、自己理解を深め、就職活動本番の応募書類作成・面接対策までをおこなう。							
【到達目標】 座学のみではなくアクティブラーニングを用い、数多くのワークで、前期は社会人基礎力を養う。後期は就職に向けての準備をおこない、就職活動を円滑におこなえるようにする。							
【教員の略歴】 キャリアカウンセラー・国家資格キャリアコンサルタント資格保持者、学生支援経験者、教員免許取得者 企業・官公庁研修の経験豊富な講師							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	高校と専門学校の違い・学生と社会人の違い	①	就職ガイダンス
②	キャリアを考える(過去・現在・未来)	②	応募書類の書き方(ポイント)
③	キャリアを考える(未来)	③	応募書類の書き方(長所・短所)
④	自己理解	④	応募書類の書き方(自己PRⅠ)
⑤	自己分析(長所・短所・特性)	⑤	応募書類の書き方(自己PRⅡ)
⑥	自己分析(多角的視点)	⑥	応募書類の書き方(学生時代に力を入れたこと)
⑦	自己分析Ⅰ	⑦	業界研究
⑧	自己分析Ⅱ	⑧	企業研究
⑨	自己分析Ⅲ	⑨	応募書類の書き方(志望動機Ⅰ)
⑩	コミュニケーションのポイント	⑩	応募書類の書き方(志望動機Ⅱ)
⑪	ビジネスマナーの基本	⑪	グループディスカッション・グループワーク
⑫	自己PR練習	⑫	面接対策
⑬	自己PR(プロフィールシート)	⑬	後期試験
⑭	前期試験	⑭	ビジネスマナー(メール・電話)
⑮	就活プロフ帳	⑮	企業プロフ帳
準備学習 時間外学習	各回、次回以降の授業と連携をしているため、欠席(公欠を含む)した際には、その内容をしっかりと予習してから、次回出席のこと。	評価方法	出席率、ワークへの参加姿勢、課題提出率・完成度、臨時および定期試験の成績を総合的に勘案する。
受講生への メッセージ	自分が自分の人生の主演として、主体的にキャリア設計をおこないましょう。また、毎回の授業は、次回の授業内容と連携しています。欠席した際には、その内容をしっかりと予習してから、出席をするようにしましょう。	使用教科書 教材 参考書	学校指定「キャリアデザインⅠ」テキスト

2023年度 授業シラバス

科目名	進級制作	必修 選択	必修	年次	1	学科	アニメ総合テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 演技の基礎を学び、本(台本)を読み解く力を養い、どんな台本でもしっかり解釈して取り組めるようにする。							
【到達目標】 アテレコ制作を通じ、役者同士、及び、各セクションとのコミュニケーション力と協調性を身につけ、収録本番までの行程を学ぶ。							
【教員の略歴】 関西にてイベント司会、ナレーション、朗読、企業向け話し方指導などを中心に活動。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	自己PRを通して話し方の癖を知る	①	キャストオーディション
②	発声、発音、滑舌などについて	②	本番に向けて練習①
③	基礎演技①(遊びから)	③	本番に向けて練習②
④	基礎演技②(遊びは演技の始まり)	④	本番に向けて練習③
⑤	基礎演技③(気持ちを繋ぐ)	⑤	本番に向けて練習③
⑥	基礎演技④(身体を使う)	⑥	いろいろな題材にチャレンジ①
⑦	基礎演技⑤(プランを立てる)	⑦	いろいろな題材にチャレンジ②
⑧	基礎演技⑥(思いを声に乗せる)	⑧	いろいろな題材にチャレンジ③
⑨	アニメ台本①(台本の見方、処理方法)	⑨	いろいろな題材にチャレンジ④
⑩	アニメ台本②(自分の「本」にする)	⑩	演技演習①
⑪	進級制作の台本を読み解く	⑪	演技演習②
⑫	進級制作の練習①	⑫	テスト
⑬	進級制作の練習②	⑬	演技演習③
⑭	テスト	⑭	演技演習④
⑮	進級制作の練習③	⑮	2年生に向けての課題を見つける①
準備学習 時間外学習	基礎の滑舌、発音、発声は授業時間で課題を見つけ、授業時間外にどれだけ取り組むかが大切です。	評価方法	出席率、テスト、授業態度での総合評価。
受講生への メッセージ	楽しみながら基礎を勉強し、大きな表現の土台となる演技力をしっかり身につけましょう。	使用教科書 教材 参考書	アクセント辞典、国語辞典、手鏡